

登校支援室設置校の拡充

～不登校傾向の子どもたちに寄り添った支援を充実させます～

1 目的

昨年度、新たな不登校対策の取り組みとして、不登校の子どもたちへの早期対応を行うことを目的に開始した登校支援室の設置校拡充を行います。

2 日時及び場所

令和2年度に設置した、東部中学校、藤山台中学校、石尾台中学校の3校に加え、令和3年度から、知多中学校、松原中学校、南城中学校に設置します。

3 実施内容等

文部科学省は、病気や経済的な理由を除いて年間30日以上欠席した児童生徒を不登校としています。その減少には、不登校の子どもたちに対する早期の対応が重要となります。

このため本市では、令和2年度から3中学校において登校支援室を試行的に設置し、不登校の子どもたちが安心して過ごせる居場所や学びの場所として支援を行ってまいりました。その結果、登校支援室設置校における不登校生徒数の減少が見られたことから、設置校の拡充を行います。



不登校生徒数の比較

対象	令和元年度 (11月末現在)	令和2年度 (11月末現在)	増減率
設置校(3校)の計	66人	50人	▲24.2%
市立中学校(15校)の計	289人	299人	3.5%

4 予算額

報酬	7,492千円	(職員人件費)
職員手当等	1,408千円	(職員期末手当)
報償費	8,262千円	(運営協力者謝礼)
消耗品費	60千円	(既設3校分)
保険料	62千円	(運営協力者分)
備品購入費	1,200千円	(新設3校の机、椅子等)